



ロマント君

とうじん丸

つかじい

日本最南端の古墳群 塚崎古墳群

Ancient Tumulus Clusters in Southernmost tip of Japan Tsukazaki Kofun



English

塚崎古墳群では、前方後円墳5基・円墳54基の計59基が確認されており、南九州特有の地下式横穴墓も29基発見されています。

11号墳は大隅最古の前方後円墳です。全長56mほどで、墳丘上には葺石とよばれる、古墳の表面に敷かれていた石が、観察できます。

51号墳(花牟礼古墳)は、日本最南端の前方後円墳です。全長71mほどで、塚崎古墳群にある前方後円墳の中では、最大であり、一番最後に造られました。次の時期には肝属川対岸の唐仁古墳群に大型の前方後円墳が出現します。

これらに加え、25号墳や31号墳からは、4世紀頃につくられた壺形埴輪や畿内系の土器が発見されています。このことから、塚崎古墳群は大隅で最古の古墳群であり、古墳を造る中心地であった畿内(奈良・大阪)勢力と、南九州が当初から交流を持っていたことを示す重要な史跡です。

また、塚崎で前方後円墳が造られなくなった5世紀以降には、円墳や地下式横穴墓が造られます。

円墳の41号墳からは、貴重な大阪産や愛媛産の須恵器甕が発見されています。

このように、前方後円墳が造られなくなってからも、塚崎古墳群は重要な地位にいた人々が埋葬されていたと考えられています。

お問い合わせ

肝付町役場 生涯学習課
☎0994-65-2594



肝付町立 歴史民俗資料館
☎0994-65-0170

